

平成26年度

事業報告書

公益財団法人 北九州市身体障害者福祉協会

目 次

平成26年度事業報告

1. 総括	1
2. 事業の実施概要	
I. 法人運営	1
II. 公益目的事業	3
【公益事業1】	
社会参加推進事業	3
【公益事業2】	
東部障害者福祉会館事業	6
【公益事業3】	
西部障害者福祉会館事業	16
III. 収益目的事業	31
【収益事業1】	
点字・声の市政だより等作成事業	31
【収益事業2】	
ヘルパー事業(支援介護ステーションきずな)	32
【収益事業3】	
自動販売機委託販売事業	32
IV. その他事業	33
【その他事業1】	
地域障害者団体支援事業	33
V. 他団体連携事業	33

総 括

平成26年度は、九州身体障害者福祉大会及び九州視覚障害者情報提供施設大会の2つの大きな大会を法人事務局及び点字図書館がそれぞれ担当して開催しました。九州身体障害者福祉大会では、九州各県の障害のある人たちが一堂に会し、平成28年4月1日に障害者差別解消法が施行されることを見据えた、障害のある人たちが暮らしやすい社会の実現に向けた議論がなされ、九州各県が一致団結して差別を無くす取り組みを行なっていくことが確認されました。また、九州視覚障害者情報提供施設大会では、情報提供施設の職員及びボランティアが一堂に会し、視覚障害の人たちへのより良い点訳・音訳の技術を目指して意見交換と交流が図られ、大会を通じてお互いの絆が深められました。

指定管理者第3期目となる障害者福祉会館では、東部会館内に新たに開設した障害者芸術文化応援センターを含め、地域利用者の活動拠点としての講座、交流会の開催に加え、会館の活動を知ってもらうための広報、啓発活動を行ないました。

その他、職員の資質の向上について、問題解決力を身に付けるグループワークを行なうなど、継続して人材育成に取り組みました。

一方、平成15年にスタートし、障害のある人たちが自分らしい生活を送るための支援を行ってきた支援介護ステーションきずなが、登録ヘルパーの減少により事業の継続が困難となり、26年度末をもって、惜しまれつつも事業所を閉鎖することとなり、ヘルパー事業閉鎖にともなう福岡県への変更認定申請の手続きを行ないました。

～～～～ 事業の実施概要 ～～～～

I 法人運営

(1) 組織運営に関わる各種会議の開催

①理事会

開 催 日	内 容	出席
平成26年 5月30日(金)	平成25年度 事業報告について 平成25年度 決算報告について 平成26年度 補正予算について 評議員会の招集について	12人
平成26年 7月30日(水)	平成26年度 補正予算について (第2次)	13人
平成26年 12月8日(月)	支援介護ステーションきずなについて 再雇用職員の雇用条件について	13人
平成27年 2月13日(金)	平成27年度 事業計画(案)について 平成27年度 予算(案)について 支援介護ステーションきずな退職者への退職合意金及び 登録ヘルパーへの慰労金の支給について 諸規程の変更について 特定資産(退職給付引当資産)の取り崩しについて 評議員会の招集について	11人
平成27年 3月23日(月)	重要な職員の選任について (みなし決議)	

②評議員会

開 催 日	内 容	出席
平成26年 6月13日(金)	平成25年度 事業報告について (報告事項) 平成25年度 決算報告について	5人
平成27年 2月23日(木)	平成27年度 事業計画について (報告事項) 平成27年度 予算について (報告事項)	5人

③監査

開 催 日	内 容	出席
平成26年 5月21日(水)	平成25年度 事業報告及び収支決算に対する監査	2人

④関係団体事務局長会議

事業の企画、検討及び関係団体相互の連携、情報交換を目的に隔月で開催しました。

期 間	回数	構成委員
平成26年4月5日(土)～平成27年2月7日(土)	6回	16人

⑤法人運営推進会議

法人の運営に関する事項について検討するため、法人役員と管理職をメンバーとして開催しました。

期 間	回数	構成委員
平成26年5月15日(金)～平成27年2月25日(水)	8回	8人

⑥事業担当者会議

セクション間の事業の企画調整、情報交換を目的として開催しました。

期 間	回数	構成委員
平成26年4月17日(木)～平成27年2月20日(水)	6回	6人

(2) 職員育成の強化

①全職員を対象とした研修会の実施

開催日	内 容	場 所	出席
平成26年 6月 5日(金)	個人情報保護について	東部障害者福祉会館	17人
平成26年 6月20日(金)	個人情報保護について	西部障害者福祉会館	19人
平成26年 9月11日(木)	からだをメンテナンスしよう	東部障害者福祉会館	16人
平成26年 9月18日(木)	からだをメンテナンスしよう	西部障害者福祉会館	14人
平成26年 12月12日(金)	グループワーク(交流分析)	西部障害者福祉会館	14人
平成26年 12月19日(金)	グループワーク(交流分析)	東部障害者福祉会館	16人

②専門性を強化する為の内部研修会の開催と外部の研修会への参加

所 属 内 訳	内部研修回数	外部研修回数
本部	0	19
東部障害者福祉会館(視聴覚情報センター含む)	1	6
西部障害者福祉会館(視聴覚情報提供施設含む)	5	21
支援介護ステーションきずな	6	0
合 計	17	67

Ⅱ 公益目的事業

【公益目的事業1】社会参加推進事業

(1) 障害者芸術文化支援事業

第7回北九州市障害者芸術祭

平成20年度から開催している、障害のある人たちの芸術文化活動発表の場の提供と、市民への啓発を目的とした北九州市障害者芸術祭を今年度も引き続き開催しました。

ステージイベントでは、初めての試みとして北九州芸術劇場と連携し、京都からダンスユニット「セレノグラフィカ」のお2人を講師にお迎えし、ダンスワークショップを行ないました。参加者については、市内の高校生にも参加を呼びかけ、障害のある人達と共にダンスワークショップの発表を行ないました。また、今回は特別ゲストとして、フジテレビ系恋愛観察バラエティー「あいのり」の主題歌でおなじみの川嶋あい氏に出演していただき、会場を盛り上げていただきました。

作品展においては、障害当事者の写真・絵画・書道・手芸・工芸などの作品を展示し、作者の紹介等も行ないました。会場では、視覚障害の方にも作品を楽しんでもらえるように機器を使って作品の音声による解説を行ない、また、車いすの方にも楽しんでもらえるよう、作品展示の高さも調節するなど配慮を行ない、来場された方々に作品を楽しんで頂き、出展数は過去最高となりました。

<作品展示部門>

	日 程	会 場
1	平成26年12月9日（火）～12月14日（日）	北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー（コムシティ3階）

・出展作品 (点) 作品展来場者数 477人（6日間合計）

種 別	作品数	種 別	作品数
絵 画	70	工 芸	17
書 道	25	手 芸	12
写 真	25	合 計	149 点



芸術祭作品展会場

<ステージ部門>

○日時および会場

平成26年12月7日（日） 13:00～16:00

ウエルとばた3階 中ホール

○来場者数 520人

○プログラム内容

・一般公募によるステージ

出演団体 3グループ

・推薦によるステージ

出演団体 2グループ

Mr. Handy（マジックショー）

あそどっぐ（漫才&コント）

・特別ゲスト 川嶋あい（弾き語り）



芸術祭ステージイベント会場

○実行委員団体（9団体）

育成会（法人）、育成会（親の会）、障害福祉ボランティア協会、難聴者・中途失聴者協会、あいず、ソーシャルファーム高山、障害福祉課、人権推進センター、身障協会

(2) 手話通訳協力員派遣事業

北九州市の手話通訳者派遣事業での対応を補うものとして、当協会独自に聴覚障害者の社会参加を支援する事業として取り組みました。

派遣件数

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
派遣者数	39	22	40	26	30	29	50	48	40	25	33	28	410

(3) 情報提供事業

ホームページ及び広報紙を活用し、協会の取り組みやイベントなど、各種事業の紹介を行ない、外部への情報発信に努めました。

協会機関紙「しんしょうだより」の発行

- ・発行回数、部数 年4回発行、各1,600部
- ・送付先 市内関係機関、団体250ヶ所

(4) 陳情・要望活動事業

第46回九州身体障害者福祉大会 きたきゅうしゅう大会

毎年、九州各県・政令指定都市が担当している『九州身体障害者福祉大会きたきゅうしゅう大会』を当協会が主催して開催しました。

九州各県・政令指定都市の身体障害者団体が一堂に会し、障害福祉関係諸施策の問題について討議し、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指すことを目的として開催しました。

1日目の講演会では、北九州市立大学地域創生学群 基盤教育センター教授の中島俊介氏を講師に招き『技ありの人間関係』というテーマでお話をいただきました。その後『組織強化のために必要な取り組み、その具体策について』、『障害者権利条約の批准を受け、障害者差別の解消について考える』をテーマにして2分科会に分かれ、パネルディスカッション形式で討議を行いました。

2日目の福祉大会では、障害者権利条約及び差別解消法の趣旨の徹底周知や災害時の要援護者支援計画に基づく情報の共有など、国に対する要望事項が決議されました。2日間の全日程を延べ約1600人の参加者を迎え終了することができました。

<会議開催日程>

	内 容	実 施 日	参加者	会 場
1	平成26年度 第46回九州身体障害者福祉大会 きたきゅうしゅう大会	平成27年 1月15日(木)～ 16日(金)	延べ 1,600人	リーガロイヤルホテル 小倉

(大会の内容)

○プログラム

(1日目) 平成27年1月15日(木) 13:00～17:20

講演会 : 『技ありの人間関係』

中島 俊介 氏(北九州市立大学 地域創生学群 基盤教育センター教授)

研究部会: 第1研究部会『組織強化のために必要な取り組み、その具体策について』

第2研究部会『障害者権利条約の批准を受け、障害者差別の解消について考える』

歓迎レセプション: アトラクション 『小倉祇園太鼓おう会』、『聖幻会』

(2日目) 平成27年4月16日(金) 10:00～12:00

福祉大会

第1部: 式典 第2部: 議事



研究部会



講演会



歓迎レセプション



福祉大会

九州身体障害者福祉大会きたきゅうしゅう大会実行委員団体(15団体)

門司区身障協会、小倉北区身障協会、小倉南区身障協会、戸畑区身障協会、若松区身障協会、八幡西区身障協会、難聴者・中途失聴者協会、創声会、自動車協会、肢体協会、あすの会、オストメイト協議会、視覚障害者福祉協会、あいず、陽だまり

その他の大会

障害者施策の諸問題について、大会参加を通じて情報交換、要望活動を行ないました。

	内 容	実施日	参加者	会 場
1	第55回政令指定都市 身体障害者福祉団体連絡協議会	平成26年8月23日(土)	11人	静岡市

【公益目的事業２】東部障害者福祉会館事業

総括

平成26年度の会館利用人数は昨年度より4,371人増となりました。昨年度との比較から講座の開催や芸術・文化・余暇活動の実施が要因となっているようです。

障害のある人たちの生きがい支援推進や、日々の暮らしを豊かにするための講座は、「パソコン講座」、「健康エクササイズ教室」、「ミュージックケア教室」など、健康、癒しの講座を含め12講座の実施と、冬・春2回の交流会を実施しました。特に春の「ロールケーキ」交流会には、初めて東部会館を訪れた6名を含む14名の参加がありました。例年どおり、26年度も講座受講だけに止まらず、開館記念文化祭「ふれあい広場」への切り絵やペン習字サークル作品の出展、ハンドベル演奏でのステージ出演など、講座受講生や講師・スタッフも一緒に目標に向かって取り組む事により、お互いの障害の理解や親睦を深める事ができました。

「ふれあい広場」は、昨年と同じ25の実行委員団体の参加により開催し、来場者も505人と昨年度とほぼ同じ人数で盛況に終えることができました。

また、ボランティア養成講座は、「車いす使用者の外出支援ボランティア入門講座」を開催し、受講生が当事者講師との交流の中から『障害とは環境が作り出す困難な状態』という話を聞き、見方が少し変わったという感想がでるなど、支援について考えるきっかけとなりました。

視聴覚障害者情報センターでは、要約筆記者養成講座前期課程および、現任者のレベルアップ研修や、全国統一認定試験の対策講座等を開催しました。

視覚障害者のサービスについては、登録の受け付けや会館講座の紹介も含め、情報センターだけではなく会館全体で取り組みました。

今年度より新設された北九州市障害者芸術文化応援センター事業では、ホームページやフェイスブックにて、積極的に障害のある方の芸術文化活動の情報提供を行いました。

①運営委員会等

会館運営委員会

- ・期 日：平成26年4月18日（金） 13：30～15：00
- ・内 容：平成25年度事業報告、平成26年度事業計画、その他
- ・委 員：10人
肢体障害者福祉協会、聴覚障害者協会、視覚障害者友好協会、育成会（親の会）
脊髄損傷者連合会、あゆみの会、障害福祉ボランティア協会、障害福祉課
西部障害者福祉会館、東部障害者福祉会館

社会参加推進協議会

- ・期 日：平成26年4月18日（金） 15：00～
- ・内 容：平成25年度事業報告及び平成26年度事業計画
- ・委 員：5名
育成会（法人）、あゆみの会、障害福祉ボランティア協会、障害福祉課
社会参加推進センター

②会館利用実績報告

会館利用者数（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

- ・利用総人員＝30,954人（前年度26,583人）

③障害別利用者数

（人）

	肢体	視覚	言語	ろう	難聴	盲ろう	内部	知的	発達	精神	計
今年度	1,420	1,857	936	2,543	1,037	196	762	964	157	214	10,086
前年度	1,309	1,832	883	1,354	898	165	532	831	122	159	8,085

④関係者別利用者数

	肢体	視覚	言語	ろう	難聴	盲ろう	内部	知的	発達	精神	全障害
今年度	1,119	371	207	722	759	405	520	2,204	401	113	2,397
前年度	1,698	250	197	355	1,121	353	101	1,882	300	121	1,975

(人)

ボランティア	計
11,650	20,868
10,145	18,498

⑤利用目的別件数

(件)

	会議	講座	研修	作業	芸術・文化・余暇	その他	計
今年度	1,356	400	410	95	233	324	2,818
前年度	1,325	261	435	65	171	349	2,606

⑥障害別登録利用団体数 ※ () は新規登録数

	肢体	視覚	聴覚	言語	内部	知的	発達	精神	全障害	計
今年度	16	13	16(2)	7	5(1)	22(2)	16(1)	13(2)	26	134(8)
前年度	18(3)	18(1)	11(1)	7	7(2)	18(1)	17(1)	13(2)	17(5)	126(16)

⑦相談件数

(件)

	当事者				その他	計
	職業	生活	制度	その他	(家族、関係者、ボランティア)	
今年度	27	69	31	141	4	272
前年度	18	56	3	45	19	141

※26年度の傾向

聴覚障害者のコミュニケーショントラブルからくる人間関係、家族関係及び病気等の悩みの相談が多かった

⑧苦情・要望件数

2件(書面0件)

【要望1】会館の受付の所に時計があると良い。

【回答1】カウンター横の壁に時計を設置しました。

【要望2】会議室6Dの柱の角が危ないのでカバーをして欲しい。

【回答2】研修室(6D、和室、6Cの3カ所)及び音楽室の柱の角(3カ所)に怪我をしないように緩衝材をとりつけました。

1. 障害者社会参加支援事業

(1) 障害者社会参加講座開催事業

No.	講座等		実施日	回数	参加者(人)
1	パソコン入門講座		5月1日～5月29日 10:00～12:00	5	8 (肢6, 内2) 応募16
2	ワード初級講座	新	7月3日～7月31日 13:30～15:30	5	8 (肢6, 視1, 精1) 応募9
3	エクセル初級講座	新	11月1日～11月29日 13:30～15:30	5	8 (肢2, 聴2, 知1, 内1, 精2) 応募14

4	アロマ石けん講座	新	9月14日 10：00～12：00	4	5 (肢2, 視1, 精2)
5	健康エクササイズ講座		5月10日～11月15日 10：00～12：00	6	15 (肢6, 言1, 知7, 精1)
6	料理教室		5月25日～1月25日 10：00～12：00	7	18 (肢5, 視1, 聴1, 知8, 精3)
7	手作りパン教室		5月18日～12月21日 10：00～13：00	5	10 (肢6, 知2, 精2) 応募21
8	切り絵年賀状教室	新	12月4日～12月18日 13：30～15：30	2	5 (肢1, 知1, 聴2, 精1)
9	切り絵教室		6月1日～11月2日 13：30～15：30	3	10 (肢2, 聴3, 精1, 知4)
10	音楽講座「ハンドベル演奏」		10月4日～10月18日 10：00～12：00	3	8 (肢3, 視1, 聴1, 知1, 精2)
11	折り紙教室	新	10月5日 10：00～12：00	1	5 (肢3, 聴1, 精1)
12	ミュージックケア教室		11月8日～3月14日 10：00～12：00	5	14 (肢6, 視1, 知4, 精3)
※総参加延べ人数 575人（肢 237、内 15、視 27、聴 50、知 169、精 77）					



エクササイズ教室



パソコン入門教室

(2) 交流事業

No.	交流会名	実施日	回数	参加者 (人)
1	クリスマス交流会	12月13日(土) 13：30～16：00	1	9 (肢3, 視2, 聴1, 知3)
2	春の交流会「ロールケーキ」	3月14日(土) 13：30～16：00	1	14 (肢6, 視2, 聴1, 知2, 精3)
3	開館記念行事 ふれあい広場	10月26日(日) 10：00～15：30		



クリスマス交流会



春の交流会（ロールケーキ）

開館記念行事 ふれあい広場

期 日：平成26年10月26日（日）
10：00～15：30

参加者：505人

実行委員団体：25団体

内 容：ステージでの活動発表、作品展示、
バザー、ゲームコーナー、
模擬店、お楽しみ抽選会



かがやきステージ

商業施設等の場所で障害のあるアーティストのステージイベントを開催し、交流と障害福祉の理解の啓発、障害者アーティストの発表の場を提供することを目的に開催しました。

	実 施 日	会 場	アーティスト
1	9月21日（日） 13：00～15：00	黒崎井筒屋野外ステージ	はっぴいべる・三咲会（渡辺三喜雄氏） 真鍋富誉氏・ウイングス
2	2月28日（土） 14：00～15：10	さんさん広場	佐藤拓也氏・Yokko&ミルキィ



黒崎井筒屋野外ステージ



さんさん広場

かがやき作品展

商業施設やカフェ等の中で、障害のあるアーティストのアート展を開催することで、交流と障害福祉の理解の啓発、障害者アートの作品の素晴らしさを知って頂くことを目的に開催しました。

No.	実 施 日	会 場	アーティスト
1	9月20日（土） ～30日（火）	きさろく館カフェ	友保 徹藏氏
2	11月14日（金） ～16日（日）	国際車椅子バスケット ボール大会会場	ぬのかわ えつこ氏
3	2月23日（月） ～3月2日（月）	さんさん広場	福田 しずか氏



きさろく館カフェ



さんさん広場

(3) 支援者養成事業

ボランティア養成事業（車いす使用者の外出支援ボランティア入門講座）

- ・期 日：平成26年7月27日（日） 10：00～15：30
- ・参加者：6人（男性3人、女性3人）
- ・共 催：北九州市障害福祉ボランティア協会

（内 容）

時 間	科 目	内 容
10：00～10：10	開講式	はじめの言葉講座の目的共有
10：10～10：30	アイスブレイク	自己紹介等
10：30～11：10	障害理解	障害当事者からのお話
11：10～11：40	“今、求められる外出支援とは” 車いす使用者の外出支援 ①	施設関係者からのお話
11：40～12：00	“今、求められる外出支援とは” 車いす使用者の外出支援 ②	外出支援実践者からのお話
12：45～13：15	車いす使用者の介助	介助のポイント
13：15～14：15	車いす体験を通して理解を深めよう	安全で気持ちよい介助法
14：25～15：00	ボランティア活動とは “ルールとマナー”	大切にしたい心がまえのお話
15：00～15：30	閉講式・まとめ	アンケート記入

障害のある人へのコミュニケーション支援セミナー

障害特性に応じたコミュニケーション支援技術を学習するために、今年度は重度の知的障害・発達障害のある人へのコミュニケーション支援について、特別支援学校での取り組み事例を紹介し、参加者と意見交換を行ないました。また、重度障害者の意思伝達補助ソフトの紹介と視線入力体験の内容でセミナーを実施しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
1	知的障害特別支援学校で取り組まれている わかりやすく伝えるための工夫のいろいろ ～教育から福祉へ、途切れない支援となるために～ 発表 福岡県立築城特別支援学校 教諭 待木浩一氏 市立小倉南特別支援学校 主幹教諭 赤瀬理恵氏 意見交換	11月30日（日） 13：00～16：30	92
2	意思伝達補助ソフト「ハーティリーダー」の活用 ～重度障害者意思伝達装置の今！ 「残した自分の声を活用する」「視線で入力する」～ 講演 パソボラこころのかけはし 吉村隆樹氏 視線入力体験	平成27年2月22日（日） 13：30～16：30	69



コミュニケーション支援セミナー①



コミュニケーション支援セミナー②

(4) 情報提供事業

会館だよりの発行

- ・年4回、1,600部発行

障害福祉情報提供事業

- ・障害福祉書籍貸出数 24冊
- ・全国紙新聞切抜き掲示 578件

講座パンフレットの発行

- ・年2回、700部発行

障害者芸術文化情報提供事業

障害者芸術文化応援センターとして、ホームページやフェイスブック（8月末迄はブログ）にて、障害者の芸術文化活動の情報提供を行ないました。

4月1日から8月31日までブログにて情報提供 計 39件

9月1日から現在までフェイスブックにて情報提供 計 110件

2. 障害別社会参加支援事業（視聴覚障害者情報センター、障害者社会参加推進センター）

○視聴覚障害者情報センター

北九州市立点字図書館分館事業

ア. 図書貸し出し

- ・点字図書=0本
- ・録音図書=0本
- ・CD図書=0本

イ. 機器貸し出し

- ・点字プリンター=16件
- ・音訳用パソコン貸し出し=9件
- ・拡大読書器貸し出し=3件

ウ. プライベートサービス

- ・点字用品販売=55件

北九州市立ビデオライブラリー分館事業

ア. 手話・字幕付きビデオ貸し出し=18本

(1) 障害別支援者養成事業

○視聴覚障害者情報センター

要約筆記者養成事業

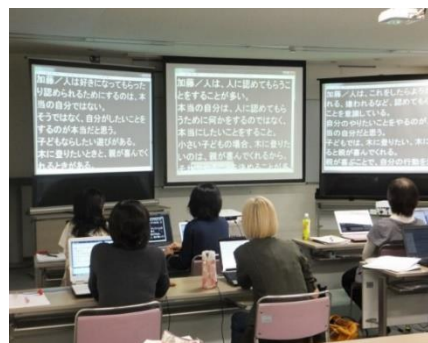
内 容		実 施 日	回数	参加者 (人)	修了者 (人)
要約筆記者 養成講座	手書き	11月21日～3月13日	14	8	6
	パソコン	11月21日～3月13日	14	7	6
要約筆記者現任研修会		5月16日、30日（新人研修） 11月27日	3	24	
要約筆記者認定試験対策講座		9月5日、22日、10月20日 平成27年1月19日 2月2日、5日、9日	7	17	

現任要約筆記者のさらなるレベルアップを目指し、全国要約筆記問題研究会より講師を招いて3日間にわたる研修を実施しました。

内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
要約筆記者レベルアップ研修	10月5日、6日 平成27年1月31日	3	42



要約筆記者養成講座



要約筆記者レベルアップ研修

(2) 障害別生活支援事業

○視聴覚障害者情報センター

要約筆記者派遣事業

登録者数	当事者	96人
	筆記者	37人
派遣数	件数	203件
	人数	546人

派遣種類	OHC	52件
	パソコン	41件
	ノート	110件

○障害者社会参加推進センター

自立生活講座（外出プログラム）

外出機会の少ない障害者が街や話題の場所に出かけていくことで、社会参加や制度利用のきっかけを作ることなどを目的に企画しました。また、障害のある参加者が障害のない参加者と協力し合い、公共交通機関を利用して外出機会を増やしていくことで、誰もが参加しやすい社会づくりの視点を育てることを狙いとして実施しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
1	いとうづの森公園に行って 動物とふれあおう！！	6月8日(日)	23 肢体2、視力0、知的1 重複5、精神0 障害なし1、ボラ14
2	北九州空港に行こう！！	9月21日(日)	9 肢体1、視力0、知的1 重複6、精神0 障害なし0、ボラ1
3	新しくオープンした 「イオンタウン黒崎」へ行こう！！	12月7日(日)	11 肢体1、視力0、知的0 重複4、精神0 障害なし1、ボラ5
4	今、話題の大河ドラマの舞台を訪ねて 「しろはと号」に乗って行こう！！	平成27年3月1日(土)	16 肢体2、視力0、知的2 重複6、精神1 障害なし2、ボラ3

※実施団体：北九州自立生活センター

自立生活プログラム

福祉サービスを利用している人は、「障害福祉サービス等利用計画書」が必要になりました。これを『セルフプラン』としてつくることもできます。そこで、制度体系や受給者証の意味等を学んだ後、自分の言葉で希望する生活や目標と、各制度の利用についての状況や希望を書き込めるように支援することで『セルフプラン』を作成し、それを実際に区役所へ届けるところまでを目的として実施しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
1	そもそも「障害福祉サービス等利用計画書」って何	平成27年3月25日(水)	7 身障3 重複2 家族2
2	自分らしい生活スタイルについて 受給者証の読み方と、利用している制度の基本	平成27年3月26日(木)	
3	実際に「セルフプラン」を書いてみよう	平成27年3月27日(金)	
4	それぞれで区役所に届けよう 「セルフプラン」の仕上げと提出の個別支援	平成27年3月30日(土)	

※実施団体：北九州自立生活センター

資格取得講座

障害特性に応じた資格取得支援を行なうため、これまで英語に触れる機会が少なかった聴覚障害のある人に対して、英検受験を目標とした講座を実施しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
1	聴覚障害者（ろう者）対象「英検講座」全12回	平成26年8月30日（土） ～平成27年1月24日（土）	6



英検講座①



英検講座②

音声機能障害者発声訓練事業

喉頭摘出により声を失った人に対して、発声訓練を行い、社会復帰を支援することを目的として事業を実施しました。

No.	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	平成26年4月2日(水)～平成27年3月25日(水)	48	1349 (延べ)

※実施団体：北九州創声会

発声訓練指導者養成事業

発声訓練指導者養成研修会九州ブロック大会（久留米）に北九州創声会のメンバーが参加しました。

No.	実 施 日	参加者 (人)
1	平成26年9月16日(火)～18日(木)	6

※実施団体：北九州創声会

視覚障害者生活教室開催事業

視覚障害者の社会生活に必要な知識、技術の習得を目的とした講座を開催しました。

No.	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	平成26年6月22日(日)～平成27年3月22日(日)	19	255 (延べ)

※実施団体：北九州市視覚障害者福祉協会（女性部）
福岡県視覚障害者友好協会（北九州支部）
北九州市視覚障害者自立推進協会あいず

オストメイト社会適応訓練事業

オストメイト（人口肛門、人工膀胱造設者）の方やその家族を対象に、病状に応じたケアや装具の手入れ、制度の概要などの情報提供や意見交換、その場での相談を行なう講習会を開催しました。

No.	実 施 日	回数	参加者 (人)
1	平成26年6月8日(日)～平成27年3月22日(日)	5	136 (延べ)

※実施団体：北九州市オストメイト協議会



オストメイトケア講習会①



オストメイトケア講習会②

障害者相談員研修会

障害者相談員を主な対象として、講演や事例発表、意見交換を通して、相談支援に必要な知識・技術の向上と、ネットワークを広げることを目的として研修会を開催しました。

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
1	講演「障害者に関する相談支援体制について」 北九州市保健福祉局障害福祉課 発達障害担当係長 印昭博氏 オリエンテーション、相談員の顔合わせ	5月31日（土）	17
2	講演「障害支援区分について」 北九州市障害者基幹相談支援センター 主査 石丸美穂氏	9月20日（土）	31
3	九州ブロック身体障害者相談員研修会 （佐賀大会） 事例発表 安村佐代子氏（身体・内部）	11月27日（木）～28日（金）	14
4	第6回障害者相談員研修会 講演「共生社会を目指して ～出前講座による啓発事業～」 北九州市障害福祉団体連絡協議会 事務局長 古賀由美子氏 事例発表 安村佐代子氏（身体・内部） 大野元次氏（知的）	平成27年3月1日（日）	38



九州ブロック相談員研修会①



九州ブロック相談員研修会②



相談員研修会



第6回相談員研修会

3. 貸し部屋支援事業

障害のある人たちやその支援者、関係者が障害福祉の向上を目的とした会議、研修等のために使用する部屋の貸し出しを行ないました。

【公益目的事業3】西部障害者福祉会館事業

総括

コムシティに移転して2年目となる平成26年度は、点字図書館・聴覚障害者情報センターと協力して、またコムシティ入居施設と連携して、障害のある方や市民向けに充実した事業を展開していきました。

会館利用については、移転後の目標であった2万人を超える利用数があり、講座の受講者の増加と会館利用団体の登録の増加がみられました。

障害のある方の社会参加、生きがい支援を目的とした会館講座は、新規5講座を含む15講座を開催しました。国際交流協会による講座や、穴生学舎で活動されているボランティアグループによる講座など、新たな連携による講座を実施し、初めて参加される方が増え、今までにない教養や楽しみを深めるきっかけになったとの声を多くいただきました。

障害福祉に関わるボランティアを養成する事業として、昨年度に引き続き、知的障害者の余暇支援ボランティア体験講座を実施し、企画の段階から多くの余暇活動グループに入っていただき、一緒に講座を実施していきました。受講生の方々からは、知的障害の方への関わりのヒントになったとの意見をいただき、受講後、実際にグループ活動に参加される方もおられました。

交流事業としては、コムシティ移転後初となる障害のある方と市民との交流の文化祭「であい・ゆめ広場」を、コムシティ入居団体から構成される「ひとみらいプレイス」の合同の交流祭として実施いたしました。多くの団体が出演・出展され、ステージイベントや作品展示、体験コーナーなどをコムシティの各フロアに分かれて実施し、障害のある方との関わりがなかった方たちも多く参加いただき、交流と障害の理解につながるイベントになりました。

新たな事業として、コムシティや黒崎近隣で働く人を対象としたミニ手話&ミニ点字教室、ひとみらいプレイスとの連携事業「気ままにセミナー」の講座を点字図書館・聴覚障害者情報センターと協力して実施し、視覚・聴覚障害に関する理解を深める事ができ、黒崎地区の心のバリアフリーを推進するきっかけ作りができました。

①運営委員会等

会館運営委員会

- ・期 日：平成26年4月28日（月） 13：30～15：00
- ・内 容：平成25年度事業報告、平成26年度事業計画、その他
- ・委 員：10人

八幡西区身体障害者福祉協会、難聴者・中途失聴者協会、視覚障害者友好協会、あゆみの会、育成会、障害福祉ボランティア協会、ひとみらいプレイス、障害福祉課、西部障害者福祉会館、東部障害者福祉会館

②会館利用実績報告

会館利用者数（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

- ・利用総人員＝20,081人（前年度19,975人）

③障害別利用者数

（人）

	肢体	視覚	言語	ろう	難聴	盲ろう	内部	知的	発達	精神	計
今年度	725	922	208	1,517	258	72	161	676	286	172	4,997
前年度	631	1,171	258	1,811	362	65	94	640	439	134	5,605

④関係者別利用者数

	肢体	視覚	言語	ろう	難聴	盲ろう	内部	知的	発達	精神	全障害
今年度	132	427	42	639	53	138	3	812	539	187	2,005
前年度	61	776	32	572	118	57	4	416	464	78	1,760

（人）

	●ボランティア	■関係者	■その他	計
今年度	8,044	718	1,345	15,084
前年度	8,290	685	1,057	14,370

●印は、部屋利用者数＋来館者数

■印は、来館者数

⑤利用目的別件数

(件)

	会議	講座	研修	作業	芸術・文化・余暇	その他	計
今年度	222	214	289	276	166	246	1,413
前年度	182	242	198	188	167	262	1,239

⑥障害別登録利用団体数 ※ () は新規登録数

(件)

	肢体	視覚	聴覚	言語	盲ろう	内部	知的	発達	精神	全障害	計
今年度	2(1)	11(1)	6(1)	0	1	0	6(1)	5(2)	3(2)	4(1)	38(9)
前年度	1	10(2)	5	0	1(1)	0	5(1)	3(1)	1(1)	3(1)	29(7)

⑦相談件数

(件)

	当事者				その他 (家族、関係者、ボランティア)	計
	職業	生活	制度	その他		
今年度	10	39	23	42	17	131
前年度	14	41	26	38	15	134

※26年度の傾向

情報源のない障害のある方が、講座・サークルなどの集いの場を求める相談が多かった。

⑧苦情・要望件数

3件 (口頭 1件、書面 2件)

【要望1】 コムシティ館内の西部会館への経路が分かりにくい。何とかしてもらいたい。
(視覚障害の方)

【回答1】 コムシティ館内の案内表示を増やしてもらい、場所が分からない方が館内におられたら、会館職員を呼んでいただくようコムシティ館内職員に伝えました。

【要望2】 談話コーナーを一般の方も使ってもよいかな。

【回答2】 障害のある方、ボランティアの方が利用できる施設であるが、障害のある方に配慮するなどマナーを守って、席を譲り合ってご利用下さいと伝えました。

【苦情1】 会館講座受講生が講師の対応に対し立腹され、会館職員にクレームを言われた

【対応1】 後日、ご本人、講師それぞれとの話し合いの場を持って事情確認を行い、今後、誤解のないような、障害に配慮した対応を職員、講師が連携して行うよう話をしました。

1. 障害者社会参加支援事業

(1) 障害者社会参加講座開催事業

No.	講座名	実施日	回数	参加者 (人)
1	ミュージック・ケア教室	5月10日～10月11日 10:00～12:00	6	16 (肢7, 視1, 聴1, 知6, 精1)
2	ヘルシー家庭料理教室	5月11日～12月14日 10:00～12:00	7	16 (肢4, 視1, 聴3, 内1, 知7)
3	健康体操教室	5月17日～12月20日 10:00～12:00	7	16 (肢7, 視6, 聴1, 言1, 内1, 知3)
4	ちぎり絵教室	5月18日～10月19日 10:00～12:00	5	11 (肢5, 聴1, 知5)
5	絵手紙教室	5月21日～12月17日 13:30～15:30	7	17 (肢9, 聴2, 言1, 内2, 知1, 精2)
6	手作りパン教室	5月24日～12月27日 10:00～13:00	7	14 (肢7, 聴1, 内2, 知4, 精1)

7	切り絵教室		9月6日～3月7日 13:30～15:30	7	15 (肢7, 聴3, 言1, 内1, 知2, 精1)
8	パッチワーク&手芸教室	新	10月1日～11月19日 10:00～12:00	5	15 (肢7, 聴2, 内2, 知1, 精3)
9	初心者のためのパソコン教室(パート1)		6月14日～7月5日 13:30～15:30	4	8 (肢2, 聴1, 内4, 精1)
10	仕事や家庭で使える！ エクセル活用講座	新	8月22日～9月19日 18:30～20:30	5	6 (肢2, 聴3, 知1)
11	初心者のためのパソコン教室(パート2)		11月13日～12月4日 13:30～15:30	4	8 (肢2, 聴1, 内4, 精1)
12	わくわく親子講座 「おもちゃを通してふれあおう！」		8月24日 10:00～12:00	1	9 (肢1, 知8)
13	暮らしを彩る園芸教室	新	10月2日、16日 13:30～15:30	2	9 (肢3, 視2, 聴1, 内2, 精1)
14	牛乳パックによる紙すき体験	新	10月25日 13:30～15:30	1	13 (肢6, 視1, 聴3, 知3)
15	異文化交流講座「韓国のチヂミ作り」 ※国際交流協会と連携	新	11月20日 11:00～13:00	1	14 (肢6, 視1, 聴2, 内3, 知2)
※総参加延べ人数 774人 (肢326、視54、聴113、言19、内70、知147、精45)					



手作りパン教室



健康体操教室



園芸教室



紙すき体験

(2) 交流事業

No.	交流会名	実施日	回数	参加者 (人)
1	春の交流会「デザートパーティ」	3月8日 14:00～16:00	1	29 (肢9, 視4, 聴5, 言1, 内1, 知5, 精4)
2	ひとみらいプレイス交流祭 であい・ゆめ広場	11月9日(日) 11:00～15:00		



春の交流会①



春の交流会②

ひとみらいプレイス交流祭「であい・ゆめ広場」

期 日：平成26年11月9日（日）
11：00～15：00

参加者：335人

内 容：ステージイベント、体験コーナー、
バザー、作品展示など

出演・出展団体：19団体



であい・ゆめ広場

（3）支援者養成事業

わくわくタイム！知的障害のある人と一緒に～ボランティア体験講座～

期 日：平成26年10月5日（日） 10：00～16：00

参加者：8人（男性1人、女性7人）

カリキュラム

内 容	講 師
レクリエーション（自己紹介ゲーム）	西部障害者福祉会館
知的障害児・者と ミュージック・ケアなどで交流	プリズム
ディスカッション ・知的障害の特性、接し方について ・ボランティア活動について	ボランティア体験講座 検討団体
各団体の活動紹介	ボランティア体験講座 検討団体

＊共催＝北九州市障害福祉ボランティア協会

＊講座検討団体：10団体

障がい者の余暇を広げるネットワーク、プリズム、
おもちゃライブラリー、ひまわりキッズクラブ、
自閉症協会、育成会（親の会）、障害者支援団体
生涯学習塾T o t o r o、自閉症児者の未来を考える会
障害福祉ボランティア協会、西部障害者福祉会館



ボランティア講座

市民カレッジ ※八幡西生涯学習総合センターとの連携

テーマ 「音楽の力～心の手入れと踏み出す一歩～」

実施日：平成26年11月7日（金）～12月7日（日） 全5回

参加者：11人【男性5人、女性6人】（延べ52人）

内 容：ミュージック・ケア体験、障害の方との音楽交流、障害者芸術祭への参加など

福祉について学ぼう！～障害を持つ方と交流しよう～ ※ユースステーションとの連携

実施日：平成27年3月22日（日）

参加者：19人【男性3人（高校）、女性16人（中学1人、高校14人、短大1人）】

内 容：障害のある方と学生との軽運動、レクリエーションによる交流

気ままにセミナー ※ひとみらいプレイス連携事業

テーマ「聴覚障害者にやさしいマナーとコミュニケーション」

実施日：平成27年2月27日（金）、3月6日（金） 全2回

参加者：23人【男性9人、女性14人】（延べ37人）

内 容：聴覚障害者への対応とマナー、コミュニケーション演習

ミニ手話&ミニ点字教室（手と手でコミュニケーション） ※全施設との連携

実施日：平成26年 6月20日～8月29日 全10回（パート1）

平成26年11月14日～平成27年1月30日 全10回（パート2）

参加者：17人【男性3人、女性14人】（パート1） 延べ91人

15人【男性5人、女性10人】（パート2） 延べ67人

内 容：コムシティ、近隣で働く人を対象に、視聴覚障害者への理解と簡単なコミュニケーションについて



市民カレッジ



ミニ手話&ミニ点字教室

（4）情報提供事業

会館だよりの発行

- ・年4回、1,600部発行

講座パンフレットの発行

- ・年2回、700部発行

2. 視聴覚障害者社会参加支援事業（点字図書館、聴覚障害者情報センター）

○点字図書館

総 括

今年度は、9月に九州視覚障害者情報提供施設大会を主管施設として約500名の参加者を迎えて開催するにあたり、地元の当事者団体・ボランティアの皆さまのご協力をいただき、無事に終えることができました。また、拡充事業として、日常生活の中で読み書きに不自由している視覚障害者の現状にスポットをあて「視覚障害者等の読み書き支援を考えるシンポジウム」を開催しました。図書製作の選書については「わたしの本屋さん」事業をとおして多数のご意見をいただき、点訳・音訳ボランティアの方々の努力により、図書の完成、利用者への情報提供が充実していたと思われます。「交流会」「選書に関する意見交換会」において、図書館への要望や意見をお聞きして、職員一同より努力しなければと確認しあいました。

（1）製作及び貸し出し事業

登録者数

前年度	男性	女性	計
	372	287	659
今年度新規	男性	女性	計
	12	10	22
今年度除籍	男性	女性	計
	11	3	14
今年度	男性	女性	計
	373	294	667

利用実績

	点字図書館											
	点字図書				テープ図書				CD図書			
	利用者	1日平均	タイトル数	貸出冊数	利用者	1日平均	タイトル数	貸出巻数	利用者	1日平均	タイトル数	貸出巻数
今年度	1,805	6.2	2,314	6,900	1,075	3.7	1,504	8,353	33,056	112.8	55,565	55,565
前年度	1,637	5.6	2,171	6,935	1,424	4.8	1,977	10,496	31,646	107.6	52,635	52,635

点字図書館蔵書数

		点字図書				テープ図書				CD図書(デジジーのみ)			
前年度蔵書	タイトル合計	3,241				3,568				4,864			
	冊(巻)数計	11,282				17,091				4,865			
今年度受入(+)		自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製
	タイトル	26	13			0	0	0	0	77	14	0	0
	巻(冊)数	100	32			0	0	0	0	77	14	0	0
	受入タイトル計	39				0				91			
	受入巻(冊)計	132				0				91			
今年度除籍(-)		自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製	自館製作	寄贈	購入	他館複製
	タイトル	1	5	16		9	0	1	0	0	1	0	0
	巻(冊)数	1	15	71		73	0	12	0	0	1	0	0
	受入タイトル計	22				10				1			
	受入巻(冊)計	87				85				1			
今年度蔵書	タイトル合計	3,258				3,558				4,954			
	巻(冊)計	11,327				17,006				4,955			

分類別点字図書・録音図書製作数

分類	点字図書		CD図書	
	タイトル	冊数	タイトル	巻数
0 総記	0	0	2	2
1 哲学	4	10	8	8
2 歴史	0	0	4	4
3 社会科学	3	13	6	6
4 自然科学	1	3	5	5
5 技術	1	1	3	3
6 産業	1	4	1	1
7 芸術	1	1	2	2
8 言語	1	4	0	0
9 文学	14	64	46	46
計	26	100	77	77

選書に関する意見交換会

回	実施日	参加者 (人)	内 容
1	2月15日	14	蔵書製作に関する意見交換会

(2) 支援者養成及び研修事業

No.	内 容	実施日	回数	参加者 (延べ)
1	音訳ボランティア「録音実技講座2」	5月23日(午前・午後)、5月30日、 6月6日(午前・午後)、7月18日、 8月1日	7	7 (49)
2	音訳ボランティア「録音実技講座3」	9月12日、9月19日、12月5日、 1月23日	4	5 (19)
3	音訳リーダー連絡会	4月25日、6月20日、8月22日、 10月24日	4	17 (61)
4	音訳リーダー研修会	10月24日、10月31日(午前・午後) 11月7日(午前・午後)	5	4 (20)
5	音訳ボランティア代表者・各担当者 合同連絡会	2月27日	1	23
6	「かるかる」デイジー版製作 ボランティア研修会	6月19日、10月10日、	2	9
7	「かるかる」デイジー版製作 ボランティア連絡会	4月18日、6月19日、10月10日、 3月12日	4	32
8	わたしの本屋さん製作ボランティア 連絡会	3月12日	1	18
9	音訳図書校正ボランティア連絡会	4月・7月・10月・1月	4	(22)
10	調査ボランティア連絡会	3月14日	1	2

11	点訳ボランティアスキルアップ講座	6月21日～7月26日	6	25 (122)
12	点訳校正ボランティア連絡会	5月9日、8月8日、11月14日、 2月13日	4	(31)
13	点訳ボランティア代表者連絡会	3月15日	1	8
14	点訳ボランティア研修会	3月15日	1	41
15	点訳ボランティア登録実技	10月5日・26日、3月23日	3	(10)



音記録音実技講座



点訳ボランティア研修会

第28回九州視覚障害者情報提供施設大会

施設職員及ボランティアを対象に、点訳・音訳の技術の向上と情報交換を目的に開催しました。

開催日：平成26年9月4日（木）～5日（金）

参加者：470人



九視情協大会①



九視情協大会②

視覚障害者等の読み書き支援を考えるシンポジウム

読み書きに困難のある障害のある人への情報支援について皆で考えることを目的として実施しました。

開催日：平成26年12月21日（日）13：30～16：30

参加者：68人



シンポジウム①



シンポジウム②

(3) 情報提供事業

No.	内 容	実 施 日	回数	備考
1	完成図書情報の発信事業 わたしの本屋さん新刊案内	毎月	12	点字18 デージー45
2	完成図書情報の発信事業 九視情協録音図書案内	毎月	12	
3	完成図書情報の発信事業 追加目録	6月	1	
4	「かるかる」デージー版発行事業	毎月	12	15
5	対面リーディングサービス	随時	26	26
6	情報の伝え方セミナー	5月31日、6月7日	2	14
7	「パソコンを画面読み上げソフトで使おう」セミナー	3月14日	1	8
8	点字図書館だより発行	5月20日、9月20日、1月20日	3	墨字 100 点字 111 テープ 119 デージー 95
9	機器の貸出 (PTN1、PTN2)	随時	2	2
10	ICT相談	月2回、個別	31	31
11	点字即時ニュースの発行	月曜～金曜毎日発行 〔火曜分は水曜に発送〕		点字 6 配信 14
12	プライベート製作	随時		音訳 13件 点訳 5件

(4) 交流事業

No.	内 容	実施日	参加者 (人)
1	「みんなでマジックを楽しもう」	10月19日	57



交流会①



交流会②

○聴覚障害者情報センター

総 括

今年度は拡充事業として、施設利用者から要望の多かった「渚のふたり」バリアフリー映画上映会を実施した他、交流事業及び情報提供事業等、聴覚障害者情報センター全般にわたり意欲的な事業を展開しました。特に、難聴児の「耳の教室」の取材、編集には力をそそぎ、将来を担う子供たちにとって夢のある自主制作を今後も作っていきたいと考えています。定着化してきた情報提供事業も、今年度は「多様な性を知り自分の性を考えてみよう」のテーマで、ろうLGBTをとりあげ話題となりました。交流事業も毎回定員を超える申し込みがあり、当事者から次回の企画をあげてくれるようにもなりました。盲ろう者支援については、当事者の会が立ち上がり支援者不足が課題となる中、手話通訳派遣も含め今後、意思疎通支援の人材の確保や緊急対応の取り組み等、対人援助の検討について早急に取り組まなければならない課題も見えてきた一年でした。

(1) 制作及び貸し出し事業

登録者数

	男性	女性	計
今年度	204	419	623
前年度	(200)	(411)	(611)

利用実績 ※カッコ＝（前年度）

利用人数	西部	146
		(184)
	東部	5
		(3)
	合計	151
		(187)

貸出本数 ※カッコ＝（前年度）

貸出本数 (VHS)	西部	12
		(12)
	東部	0
		0
	合計	12
		(12)

貸出本数 (DVD)	西部	347
		(435)
	東部	5
		(7)
	合計	352
		(442)

ビデオ保有数

タイトル数	3,164
巻 数	5,313

映像ライブラリー事業

提供元	本数
字幕制作共同事業	43
寄贈番組	0
情報提供施設字幕制作番組	5
東京都消費生活総合センター	2
北九州市人権推進センター	0
NHK厚生文化事業団番組	5
合 計	55

字幕（手話）付き自主制作事業

制作種類	制作数		番組名	時間 (分)
	VHS	DVD		
自主制作	0	4	難聴児のためのバリアフリーと共生社会へー耳の教室ー	10
自主制作	0	4	特集 難聴児のためのバリアフリーと共生社会へー耳の教室ー	23
自主制作	0	1	防災訓練とAED講習	5
自主制作	0	3	早瀬憲太郎 映画監督	13
自主制作	0	2	北九州市立小倉南特別支援学校 ～学校生活全体を通した活用の工夫～	7
自主制作	0	2	福岡県立築城特別支援学校 ～いろいろな場面での工夫～	5
字幕挿入制作	0	2	北九州未来デザイン	17
著作権処理番組	1	0	前川清の笑顔まんてん タビ好き ～北九州市若松区 100年シブすぎる銭湯～	55
著作権処理番組	1	0	前川清の笑顔まんてん タビ好き ～北九州市八幡西区 若くて強い女性たち～	55
自主制作	0	5	ろうLGBT	22
計	2	23		212

C S 障害者専用放送の取材協力・番組提供事業

番組名	放送日	時間 (分)
難聴児のためのバリアフリーと共生社会へー耳の教室ー	平成26年9月16日	10



難聴児のためのバリアフリーと共生社会へー耳の教室ー

巡回ライブラリー事業

場 所	実施 回数	貸出 延数	新規 登録
福岡県立小倉聴覚特別支援学校	4	55	5
北九州市立浅川小学校 耳の教室	4	21	3
北九州市立八幡小学校 難聴学級	4	41	0



八幡小学校 難聴学級



盲ろう者通訳ガイドヘルパー
レベルアップ講座

(2) 支援者養成及び研修事業

内 容	実 施 日	回数	参加者 (人)
盲ろう者通訳ガイドヘルパー レベルアップ講座	9月17日（水）～11月5日（水）	8	延べ99人

(3) 障害別生活支援事業

手話通訳者派遣事業

登録者数	414人
派遣件数	3,680件

盲ろう者通訳ガイドヘルパー派遣事業

登録者(ヘルパー)		35人
登録者(盲ろう者)		13人
派遣数	件数	151件
	人数	266人

盲ろう者社会参加講座開催事業

回	内 容	実 施 日	参加者（人）
1	体操教室	7月17日（木）	盲ろう者＝3名 通訳・ガイド等＝7名
2	料理教室	12月6日（土）	盲ろう者＝2名 通訳・ガイド等＝5名
3	陶芸体験	3月7日（土）	盲ろう者＝2名 通訳・ガイド等＝5名



体操教室



料理教室



陶芸体験

(4) 情報提供事業

聴覚障害者情報提供事業

No.	内 容	実 施 日	参加者 (人)
1	病気を知ろう！	6月30日（月）	54人
2	あつ！そうなんだ！台風の備え	8月11日（月）	53人
3	多様な性を知り“自分の性”を考えてみよう	9月28日（日）	54人
4	聴覚障害者支援セミナー	11月29日（土）	77人
5	年賀状の書き方	12月15日（月）	11人



病気を知ろう



ろう L G B T



年賀状の書き方

機関紙発行事業(北Qみらい)

・年4回（4月15日、7月15日、10月15日、1月16日） 各300部発行



通巻46号



通巻47号



通巻48号



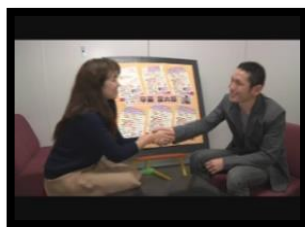
通巻49号

ストーリーミング配信事業

No.	インターネット	タ イ ト ル	視聴回数	時 間
1	YouTube	防災訓練とAED講習	262	5分30秒
2	YouTube	早瀬憲太郎 映画監督	571	17分54秒
3	YouTube	難聴児のためのバリアフリーと共生社会へー耳の教室ー	264	11分21秒
4	YouTube	特集 難聴児のためのバリアフリーと共生社会へー耳の教室ー	561	23分32秒
5	YouTube	ろう L G B T	162	21分43秒
計				1時間20分



防災訓練とAED講習



早瀬憲太郎 映画監督



難聴児のための
バリアフリーと共生社会へ
ー耳の教室ー



ろう L G B T

バリアフリー映画上映会

開催日：平成26年10月12日（日） 午前・午後2回実施

会 場：北九州市立西部障害者福祉会館

参加者：104人

（5）交流事業

聴覚障害者情報センターのつどい

No.	内 容	実施日	場 所	参加者数 (人)
1	佐賀県聴覚障害者サポートセンターと 吉野ヶ里遺跡の見学	11月22日 (土)	佐賀県聴覚障害者サポートセンター 吉野ヶ里遺跡	23



つどい（佐賀県聴覚障害者サポートセンター）

盲ろう者交流会

No.	内 容	実施日	場 所	参加者数 (人)
1	お花見交流会	5月18日（日）	白野江植物公園	22
2	ぶどう狩り	10月19日（日）	うきは市浮羽町	23
3	節分交流会	2月15日（日）	西部障害者福祉会館 調理室	18



お花見交流会



ぶどう狩り



節分交流会

聴覚障害者ふれあいの会

No.	内 容	実 施 日	場 所	参加者数 (人)
1	小倉聴覚特別支援学校の運動会に交流参加	5月24日(土)	小倉聴覚特別支援学校	13人
2	戸畑区南沢見の夏祭りに参加	8月24日(日)	戸畑区南沢見黒田公園	7人
3	福岡県立直方聾学校交流・見学	10月25日(土)	福岡県立直方聾学校	17人
4	航空自衛隊芦屋基地見学	2月24日(火)	航空自衛隊芦屋基地	21人



小倉聴覚特別支援学校の運動会



直方聾学校交流・見学



航空自衛隊芦屋基地見学

3. 貸し部屋支援事業

障害のある人たちやその支援者、関係者が障害福祉の向上を目的とした会議、研修等のために使用する部屋の貸し出しを行ないました。

Ⅲ 収益事業

【収益事業１】点字・声の市政だより等作成事業

総括

行政からの依頼により、市政だよりや市議会だより等、北九州市が発行する刊行物等の点訳・音訳版を製作、発行しました。

また、公的な通知書類やその他お知らせの点訳作業等を行ないました。

種 類	部 数				
	発行回数	点字版	カセット版	C D 版	テキスト版
① 市政だより、市議会だより等					
市政だより	24	103	53	89	23
市議会だより	4	103	56	82	23
ていたんプレス	3	103	53	83	23
人権情報誌	1	110	59	85	23
成人祭パンフレット	1	10			
② その他	件数	部数			
国民健康保険料納付通知書	1	84			
保険証年次変更・更新お知らせ	1	300			
国際車いすバスケットボール大会資料	1	4			
「高齢者等住宅改良資金利子補給金の申請について」の資料	1	1			
文書の点訳	2	11			
障害者スポーツ大会	1	3			
市営住宅減免点字通知文	1	1			
選挙入場整理券用シール等作成	1	30			
選挙投票用シール等作成	1	76			
選挙における点字氏名表作成（市長）	1	560			
選挙における点字氏名表作成（市会議員補欠）	1	60			
市民からの要望（墨訳）	1	1			

- ・日常生活用品の販売（随時）

視覚に障害のある人が日常的によく使用する点字用紙、タックシール等を販売しました。

【収益事業２】ヘルパー事業

総 括

事業計画に挙げた同行援護従業者養成事業等を無事に開催し、１８人が全課程を修了できたため、２５年度と合わせ合計３４名の同行援護従業者を養成することができました。

障害者を取り巻く福祉情報についても、ヘルパー研修を通じ情報収集やスキルアップに努め、利用者に情報を発信してきました。しかし、きずなのヘルパー増員には至らず、結果的には障害福祉サービスの収益が伸びずに赤字決算となりました。

利用者のニーズに応えれば応えるだけ収益につながらないといった介護サービスのシステムの矛盾や、深刻化する介護事業の担い手不足の問題を、ヘルパー事業を通して改めて感じました。

ヘルパー事業自体は閉鎖という形になりましたが、当事者団体として、今後も障害者の人権擁護に則した地域生活あり方や、安定した就労が見込める介護従事者環境について、行政や地域に向けて障害者支援の抜本的な見直しをさらに強く訴え続けて行かなくてはならないと実感しました。

①利用者人数（平成２７年３月３１日現在）

- ・自立支援法関係
０人
- ・介護保険制度
０人
- ・総契約者数
０人

②ヘルパー人数（平成２７年３月３１日現在）

- ・登録ヘルパー
０人

※平成２７年２月２８日までに、利用者６２人、登録ヘルパー２３人は他事業所への移管を終了した。



認知症サポート研修



腰痛予防ストレッチ



同行援護従業者養成研修

③派遣件数

(件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
派遣件数	407	411	403	426	384	386	383	334	326	314	305	0	4,079

【収益事業３】自動販売機委託販売事業

北九州市立東部障害者福祉会館、北九州市立西部障害者福祉会館をはじめ、北九州市内の公的施設に自動販売機を設置し、収益を公益目的事業に還元することを目的として飲料水の販売を行ないました。

設置個所 １１ヶ所

設置台数 ３０台

IV その他事業

【その他事業1】地域障害者団体支援事業

(1) 当事者団体自主企画事業支援

当事者団体の主催する交流や研修事業の開催支援を行ないました。

- ・各区分での事業 7団体による開催
- ・障害別団体での事業 10団体による開催

(2) 障害別全国組織及び九州地区組織開催の福祉大会参加支援

- ・第20回全国中途失聴者・難聴者福祉大会（三重県） 難聴者・中途失聴者協会が参加
- ・第67回全国盲人福祉大会（大分県） あいずが参加

(3) 障害者スポーツ参加支援

各種スポーツへの参加を通じて他団体との交流、情報交換を図ることができるよう参加支援を行ないました。

	内 容	実施日	参加者 (人)	会 場
1	第8回 九州身体障害者グランドゴルフ大会	平成26年9月18日（木）	19	宮崎県

V その他連携事業

北九州市の障害福祉にかかる諸問題について、要望、課題検討などの活動を行なう関係団体との連携に努めました。

(1) 北九州市障害福祉団体連絡協議会

常任委員団体として組織運営に関わる他、人権部会、啓発部会の事務局として事業に参画しました。

(2) 北九州市福祉のまちづくりネットワーク

世話人団体として運営に関わる他、定例会議やバリアフリーにかかる市との協議、また道路、建造物などの点検活動に参加しました。

(3) 北九州市障害福祉情報センター

イベント情報や関係機関・団体の紹介など、障害福祉に関する情報を発信する「いべんとアラカルト」や「ひこうせん未来」の発行に編集委員として関わりました。